教育のひろば

小幡幼稚園の取り組み

笑顔あふれる幼稚園

園長　高橋美枝子
園児　30人

「教育のひろば」とは
各学校や幼稚園の特色ある取り組みを紹介するコーナーです。
編集委員は、教育委員会の広報委員会に所属する各学校や幼稚園の教員です。

ひよこ組（年少）「給食大好き！」

ひよこ組の初めての給食は、お家の人と一緒に食べました。メニューは、手巻き寿司です。「自分でする！」ちょっと苦戦しながらも、お家の人に手伝ってもらい、楽しくおいしく食べることができました。

いよいよ二日目からは、子どもたちだけでの給食です。年長・年中組のお兄さんお姉さんが、配膳のお手伝いに来てくれました。「手はおひざだよ。」「ここに置くんだよ。」頼もしく優しいお兄さんお姉さんに教えてもらいました。今では、お兄さんお姉さんのお手伝いがなくても、どんどん準備ができます。

今日も給食の時間になると「先生、給食なあに？」「おいしいね。」「おかわり！」大好きな給食に笑みがこぼれます。

みんな、いっぱい食べて大きくなあれ！

初めての給食♪

給食おいしいね！

かなりあ組（年中）「色水できたよ」

5月の晴れた日、「色水したいから袋ください」と子どもたちの好きな、色水遊びが始まりました。

ビニール袋にパンジーやマリーゴールドなどの花びらを集め、水を入れ、染まっていく水の変化や、感触を楽しんでいます。

みてみて～♪

「紫になった。」「カラフルになった。」と伝え合ったり、次の日になると「茶色くなった。」と変わっていく水の色を観察したりしました。くり返し遊んでいくうちに「花びらはこのくらいでいいかな？」「水はこのくらいかな？」と考えて調整したり「カップに入れてジュースにしよう」など発想を広げたり、自分で考え遊ぶ姿が見られるようになってきました。

おさえてるからいれていいよー！

↖

↙

カップに移すときは、友だちが自然と手を貸し、助け合う姿が見られるなど、色水遊びを通して子どもたちの成長を感じることができました。

つばめ組（年長）「大きくなあれ」

「つばめ組になったから、お野菜育てるんだよね！」と、楽しみにしていた子どもたち。苗植え当日は、畑の土をやわらかくすることから自分たちで行いました。苗は友だちと一緒に植え、「やさしくね。」と言いながら土をかけ、野菜畑の完成です。

やさしく、やさしく

「早く大きくならないかな」と成長を楽しみにしながら、当番が水やりをしています。「なすのお花が咲いたよ！」「きゅうりのお花は黄色だよ。」などと観察や発見を友だちと楽しんでいます。日々の観察のおかげで、小さな成長もみんなで喜んでいます。

葉や花の形や色に興味をもち、触ってみたりにおいを嗅いでみたり…。小さかった苗が、自分たちの背より大きくなり、実をつけたことに目を輝かせながら、収穫を楽しみにしています。

収穫したら、みんなで味わって、育てる楽しさや喜びを感じたいと思います。

大きくなりますように！

提言

つながる

小幡幼稚園
園長　高橋美枝子

青空の下、園庭に元気な声が響いています。花壇のイチゴの実が赤くなるころ「イチゴがとれました。」と小さな手のひらに載せて、大切に友だちと一緒に持ってくる子どもたち。芝草の中にシロツメクサを見つけブレスレットや指輪を保育者と一緒に作って楽しんでいる子どもたち。アリやダンゴ虫、トカゲを捕まえたときにはひときわ大きな歓声が上がります。このように自然とかかわる中で気付きや興味、試してみる体験が言葉で伝えること、共感し合うことなどの大切さを学んでいく場であると考えます。多くの友だちや保育者と触れ合い受容し合う心や自己肯定感など知ることが、人としての基礎作りにつながるのではないでしょうか。

今春、園長という立場で小学校と中学校の入学式に参加させていただき、幼稚園児だった子どもたちの成長した姿を目前にし「つながっている」と感じました。幼稚園教育が集団生活のスタートであり、さまざまな体験や多くの人たちとのかかわりの積み重ねが、小学生、中学生としての立派な姿へと続くのでしょう。

幼児が生活する全ての環境が教育する場です。それぞれの場で楽しさや喜び、達成感などを知り、時にはつらさや苦しさなども味わいながら成長していくのでしょう。その時に多くの人のつながりを感じ、多くの人の手を借りていきます。今後も温かい言葉とぬくもりのあるかかわりを大切にして、幼児の健やかな成長を支えるように、幼稚園における教育現場で心新たに進んでいきたいと思います。